

「茨城愛ス」6種追加

磯山商事 県産品素材、計12種類に

加工食品製造販売の磯山商事(鉾田市安房、磯山広行社長)は、県内各地の特産品を使ったアイスミルク「常世の国の塩仕立て 茨城愛ス」の新商品6種を発売する。本県を県内外に広くアピールしたいと、既存の商品に加

え、種類を拡大。商品のバリエーションは計12種になった。

「茨城愛ス」は、小美玉市産生乳をベースに、ひたちなか市産海塩を加えたアイスミルク。今回、りんご(大子町産)▽ぶどう(常陸太田市産)▽ゆず

(常陸大宮市産)▽うめ(水戸市産)▽くり(笠間市産)▽なし(石岡市産)の計6種を加えた。果実をピューレにするなどして使い素材の味を生かしたアイスに仕上げた。

ゆずとうめを除く4種は、5月から販売を



スタート。残る2種は8月上旬までに販売を始める。

希望小売価格は、1個300円。既存の6種はギフト向けとして

新たに6種類が加わった「茨城愛ス」―鉾田市安房

販売サイト「47クラブ」などで販売する。

磯山社長は「茨城をPRするため、いろいろな産地の農産物を使って、アイスを作りたかった。これで県内の産地や特産品がバランスよくそろったのではないかと話している。」

(平野有紀)